帰国ＪＩＣＡ海外協力隊員４名に対する感謝の言葉（１１月２０日）

マラウイでのＪＩＣＡ海外協力隊員としての２年間の活動お疲れ様でした。９日の最終報告会のプレゼンテーションを聞かせて頂きました。報告会では、環境教育、コミュニティ開発、森林保全啓発、作業療法と様々な分野で、誠実且つ真摯に体当たりで取り組まれた様子を知り、感銘を受けました。

やはり共通していたのは、様々な課題に着面し、悩みや葛藤があったということでした。人が幸せに生きることをどう支えることが出来るかという根本的な問いを掘り下げて考え、ひとつひとつ乗り越えながら前に進まれました。

そんな誠実で真摯な姿勢、相手をリスペクトして自主性を高めながら一緒に取り組もうとする姿は、マラウイの方々に深い印象を与えたものと確信します。

皆様は幸いにも、任期の最後にＪＩＣＡ海外協力隊マラウイ派遣 55 周年記念式典に立ち会われ、現役隊員報告、国歌斉唱、動画の作成、展示物とりまとめ等それぞれ貢献をされました。長い歴史の中に自分の活動を見つめることができたのではないかと思います。

式典でも紹介しましたが、ローザ・ムビリズィ農業大臣とジーン・マタンガ・エネルギー大臣は、同じ学校のクラスメートであり、２人とも４０年前に高橋隊員から数学を学びました。ムビリズィ大臣は、高橋先生がギターを弾きながら教えてくれた森山良子の「きょうの日はさようなら」を公邸で歌ってくれましたが、「いつまでも絶えることなく友達でいよう」との歌詞は、高橋先生が子供たちに伝えたかったメッセージに違いありません。時を越えて歌うローザ大臣の歌声を聞く中で、日本に特別の親近感をもつ大臣の心の扉が開かれた思いがしました。５５周年式典の当日は、お母さまの体調が思わしくなく、急遽参加できなかったことについて謝罪をされていました。

マタンガ大臣は、インタビューの中で、高橋先生から「厳しい時も楽しみながら努力することを教わり、今の自分があります」と述べられていました。大臣は燃料不足の厳しい状況で相当重圧を受けているに違いありませんが、訓えのとおり笑顔で答えて頂きました。

今週、ムビリズィ農業大臣に田中所長とともに高橋先生の写真とメッセージをお届けした際、大臣は感激され、チェワ語で写真に先生(aphunzitsi)と呼びかけ、高橋先生のマラウイ訪問が実現する際には是非同窓会を企画すると言われていました。

これらのエピソードは、現役隊員にとり、いま教えている子供たちは将来の大臣だというこ

とを示唆しています。隊員活動の成果は、４０年経って広がり、大臣の活動を通じて多くの人々の生活向上に貢献しています。皆様が現場で関わった方々は今後も皆様のことを忘れることがないと思います。そして残した足跡から芽を出し、社会に大きな貢献をする人材も出てくる筈です。隊員の方々のマラウイでの魂を込めた活動は、歴史を変えて行きます。

５５周年式典記事に対するコメント欄のなかには、昔隊員に命を救ってもらった方からのお礼の言葉もありました。

日本の便利な生活とは正反対の厳しい生活環境ではありましたが、皆様の安全で健康な任務終了に安堵しています。ボランティア調整員、健康管理員をはじめＪＩＣＡマラウイ事務所の皆様の不断の努力と配慮の賜物であり、心より御礼を申し上げます。

皆様は離任にあたり、達成感、寂しさなど、ひとことで表せない万感の想いがあると思います。ですが、終わりははじまりです。今回のＪＩＣＡ海外協力隊マラウイ隊員という舞台はこれで幕を下ろしますが、誇るべき凱旋帰国のあとにはじまる大切な門出でもあります。

そこで後ほど、小さなダルマを進呈します。着任する隊員の方々には、片目を入れ抱負を書いて頂いています。帰任される皆様には、よろしければ今の達成感とともにマラウイ隊員として刻みたいことば、報告会でも溢れていた今後も忘れたくないひとことをダルマの背中に書いてそばにおいて頂ければ嬉しく思います。

皆様はそれぞれの道を歩むことになります。新しい職場にチャレンジされる方。他の国で活動される方、マラウイに戻ってこられる方もおられます。日本に戻って、マラウイのこと、日本人が人間としての前向きな生き方を学べる国であることなどを伝えて下さい。皆様がマラウイでの経験を活かして、日本や世界で活躍されるのを応援しています。

マラウイで隊員として活動した経験は、おそらく一生の宝になることと思います。今後の活動やキャリアにとって役に立つ知見であることは間違いありませんが、何よりも人間としての生き方、妥協のない自分の人生の羅針盤になるかもしれません。

皆様のかいた汗の分だけ、そして流した涙の分だけ、マラウイと日本の距離は確実に近づきました。そのことは皆さんがいま実感されていることだと思います。それぞれの現場で体当たりで情熱を注ぎ、日本とマラウイの間の友情を一層深めて頂いたことにつき、心より感謝を申し上げます。　２年間、本当にお疲れ様でした。

（了）